

稲 WCS 用品種「たちすずか」の選定と栽培法

農業研究部・水田農業グループ

1. 研究の背景

水田フル活用の推進に伴い、転作作物として稲 WCS の栽培面積が拡大している。そこで、多収かつ耐病性、飼料特性の優れた稲 WCS 用品種の選定とその栽培法を検討する。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

収量性、耐病性に優れた稲 WCS 用品種として「たちすずか」を選定した。また、その栽培方法は、栽植密度坪 50 株、基肥-分けつ肥の施肥体系が適している。

[たちすずかの特性]

たちすずかはタチアオバに比べ黄熟期で約2週間早く、収量性に優れ、葉いもち病に真性抵抗性をもつ。また、茎葉中の糖含量が高く、稲WCSに調製した際に良好な発酵品質が得られる。

[たちすずかの栽培法]

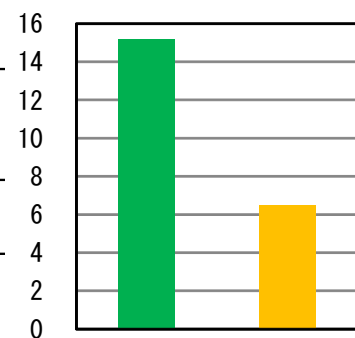
栽植密度坪50株、基肥と移植後30日を目安に施用する分けつ肥（基肥6-分けつ肥4kgN/10a）の施肥体系での栽培により、黄熟期の生重で約3.5t/10aの収量が得られる。

表1 稲WCS用品種選定試験（6/18植、2012～2014年の3カ年平均）

品種名	黄熟期 月/日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏 程度 0-5	黄熟期収量		葉いもち 抵抗性
						生重 kg/10a	乾物重 kg/10a	
たちすずか	10/11	121	14.6	297	1.8	4,632	1,685	R
タチアオバ	10/25	112	25.9	256	1.3	4,000	1,569	s

注1) 倒伏程度は無～甚までの6段階を0～5までの数字で表す。

2) 葉いもち抵抗性検定は2014年の結果を示し、R: 真性抵抗性、s: 弱を示す。



たちすずか タチアオバ

図1 地上部可溶性糖含量 (乾物中%・2014年現地試験)

表2 たちすずか栽培法試験（6/26植、2012～2013年の2カ年平均）

栽植 密度	施肥体系 基肥-分けつ肥-穂肥 (Nkg/10a)	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏 程度 0-5	黄熟期収量	
						生重 kg/10a	乾物重 kg/10a
坪40株	6-4-0	106	13.4	259	0.0	3,335	1,552
	6-0-4(慣行)	102	14.6	225	0.0	3,080	1,331
坪50株	6-4-0	106	13.8	270	0.0	3,550	1,728
	6-0-4(慣行)	101	15.2	232	0.0	3,247	1,466

注1) 倒伏程度は無～甚までの6段階を0～5までの数字で表す。

2) 分けつ肥は移植後30日を目安に施用した。

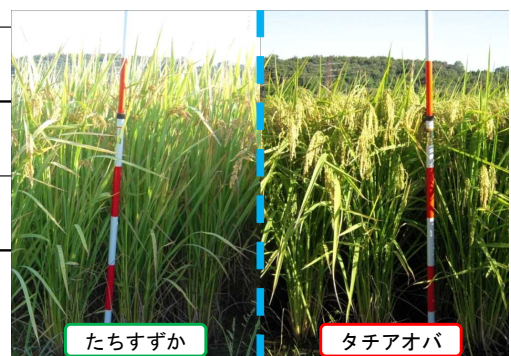


写真1 登熟期間中の草姿 (2014. 10. 17)

3. 期待される効果

収量性、耐病性に優れることから、良質な稲 WCS の安定生産が可能となり、畜産農家の飼料コストの低減に寄与できる。

4. 担当機関連絡先

農業研究部 水田農業グループ 作物栽培チーム
TEL: 0978-37-1160 住所: 宇佐市大字北宇佐 65